シルバー所沢
第139号
2017年7月1日

つざいの樹

発行：公益社団法人 所沢市シルバー人材センター/広報委員会
〒359-1143　所沢市宮本町１－１－２
☎ 04-2928-8695／FAX 04-2924-0630
ホームページアドレス　http://www.sjc.ne.jp/tokorozawa/

▽もくじ△

2頁＝定時総会開催
悠和会新役員決まる
3頁＝理事長挨拶
4頁＝ゴールド会員来年度から
5頁＝安全標語決まる
6頁＝サークル訪問30
エレキギタークラブ
余暇恋
7頁＝お仕事拝見78
健康一口メモ38
8頁＝シルバー豆宣伝他

少年よ！外で体を動かせ

斎藤正美さん（山口）

高校・社会人と野球のキャリアを積んだ斎藤正美さん（山口）は、肘の故障から選手生活を断念。6年間のブランクの後、子供さんが地元チームで少年野球を始めたことを機会に、指導者の道に入りました。

山口地区は西武ドームに近く、当時は「大きくなったらライオンズで活躍したい」という夢を持った子供が多くいて、所沢市の大会で優勝したこともあります。外で遊ぶ子供が減った今、斎藤さんは「大切なのは野球でもサッカーでも団体スポーツになじむこと。それが健康な体を作り、将来必要なコミュニケーション能力を高めます」と強調します。

シルバーの駐輪場管理の仕事を3月末で辞めた斎藤さん。古稀を迎え30年間続けたコーチ、監督を若手に譲り、チーム代表として所沢市野球連盟学童部で子供の育成に忙しい毎日を過ごしています。

（文・菰田、写真・石井）

定時総会に195名

所沢市シルバー人材センターの平成29年度定時総会が6月7日（水）、市民文化センター・ミューズのマーキーホールで開かれ195名（委任状1254名）が出席しました。

森澤弘理事長は挨拶で、労働力人口の減少に伴い深刻になっている人手不足に触れ「高齢者の出番は必ずやってくる。地域から、埋もれている物を発掘せねばなりません」と訴えました。（左頁に挨拶要旨）

総会は檀原賢吉理事を議長に進められ、議事では29年度事業計画や、会費規程一部改正など4件が報告されました。また、28年度貸借対照表などの承認を求める議案が提案されました。会場からは財務諸表に対する質問があり森澤理事長らが答えたうえで、拍手で承認されました。

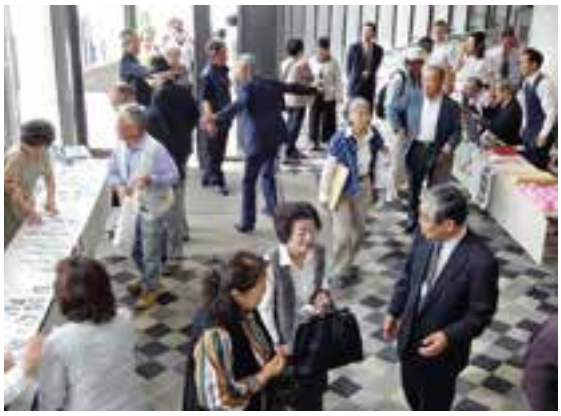
総会には公務で出席できなかったセンター顧問の藤本正人市長の代理として植村里美福祉部長、中毅志市議会議長、地元選出の衆議院議員、柴山昌彦首相補佐官や県会議員、そして賛助会員法人の皆さんに出席していただきました。

藤本正人市長の挨拶（要旨）

培われた知識や経験を生かして活躍する会員の姿は、次世代の模範です。今後も積極的な社会参加や、生きがい作りで活躍されるよう期待します。私も「実践者を大切にする所沢」の信念で、力を尽くしてまいります。（植村里美福祉部長代読）

中毅志市議会議長祝辞（要旨）

会員皆さんが知識や経験、技術を武器に、就業先の確保や新規事業発掘などに積極的に取り組まれるようお願いします。市議会も市当局と共に一層の支援をしてまいります。



会員でにぎわう総会受付

悠和会総会で新役員承認

新会長に加藤武男さん

定時総会に先立ち悠和会の総会も開催されました。

倉片敏明さん（所沢）を議長に29年度事業計画や役員選任など3議案が提案され拍手で承認されました。新役員は互選で、会長に加藤武男さん、副会長に鈴木平八さんと轟木琢磨さんが就任。退任した福田卓爾前会長に感謝状が贈られました。他に高橋政巳、田中隆男、井本順一、細谷眞弘の4幹事も退任しました。

定時総会終了後にはマーキーホール隣のミューズ展示室を会場に懇親会が開かれ、談笑の輪が広がりました。（広報委員会）

悠和会役員

会長	加藤 武男
副会長	鈴木 平八
〃	轟木 琢磨
常任幹事	小山 一
幹事	石原 晃子
〃	磯 重男
〃	狩野 啓子
〃	金子 久男（新任）
〃	小代 貞子（新任）
〃	竹内 吉子（新任）
〃	西山 利男（新任）
〃	宮下 勇（新任）
〃	矢口 英則（新任）

理事会報告

3月理事会＝3月30日（木）
議案＝◆新入会員の承認◆規定等改正の承認（条項整理や引用法令の変更などに伴うもの）。
報告＝◆平成28年度第2回職務の執行状況◆各委員会活動など。

4月理事会＝4月28日（金）
議案＝◆新入会員の承認◆会費規程の一部改正の承認◆平成28年度及び29年度収支補正の承認◆平成29年度定時総会提出議案（報告事項：28年度事業報告及び収支補正予算、29年度事業計画、29年度収支予算、会費規程の一部改正、決議事項：28年度貸借対照表及び正味財産増減計算書及び財産目録）を承認。
報告＝◆各委員会活動など。

5月理事会＝5月31日（水）
議案＝◆新入会員の承認◆利益相反に係わる件の承認。
報告＝◆各委員会活動など。

なぜ「つどいの樹」なの① 所沢シルバーの広報紙は組織改編などに合わせて何度か紙名を変え、100号までは「シルバーところざわ」でした。節目を記念し新しい名前を公募しました。

高齢者の出番がやってくる

理事長　森澤　弘

平成29年度定時総会に当たり一言ご挨拶します。日頃から会員や関係機関の皆様には当センターの事業運営に格別のご支援を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年1年いろいろなことがありました。夏のオリンピックでは41個のメダルが国民に深い勇気と感動を与えてくれました。メダリストの「最後まで諦めないでよかった」という言葉は、超高齢社会にそっくりいただきたい言葉です。一方で、熊本で大地震があり、台風も上陸して北日本に甚大な被害をもたらしました。

また昨年はシルバー事業が法制化されて30周年の節目を迎え、全シ協＝全国シルバー人材センター事業協会は全国ボランティア清掃に取り組みました。当センターも航空公園で100名、荒幡富士の清掃に60名が参加しました。

さて、市の指定管理者制度による自転車駐車場の運営管理は、5年契約が3月末で終了しました。多くの就業中の会員にご迷惑をおかけし、誠に申し訳ありません。

今、日本の労働力人口は大幅に減少し、企業は人手不足になっています。求人倍率もバブル期並みになり、若い人には完全に売り手市場となっています。今後さらに、この傾向に拍車がかかると見込まれ、企業にとって「採用」は、もはや経営戦略の一つと捉えられています。

挨拶する森澤弘理事長

このように世の中が大きく変化する中で、その対応がロボットであったりITやAI＝人工知能ですが、それでも高齢者の出番は必ずやってくる。私たちの地域から、埋もれている物を発掘せねばなりません。

その第一として「派遣事業」が、1年いや2年後には1億円収入が目標となりました。派遣事業は最初、企業から認めてもらえず大変な思いをしました。それでも担当者が辛抱強く説明に回り、ご理解とご協力をいただき、請負から派遣に切り替えてくださいました。毎年、売り上げを伸ばしており、心から感謝とお礼を申し上げます。

循環型営農も5年目に入り、創意工夫の中で売り上げ目標は200万円になっています。また新しい試みとして、所沢商品としてのブランドデビューを考える時がやってきました。市役所の指導もいただき、所沢名物作りに努力します。

地域サポート事業も3年目に入り売り上げ目標が立つまでになりました。市内11地区の協力会員350名が生活支援を担う、地域活性化に向けて頑張ってまいります。

女性会員の活躍も期待します。仲間と一緒に楽しく元気に、仕事でも社会とつながっている。その喜びを生き生きと話してくれる会員の声に大きな喜びを感じています。

藤本市長は「所沢市が3年後に大きく動き出す」と発言されています。そして「健幸(けんこう)長寿のマチ所沢」を挙げています。その中にシルバー人材センターも入れてください。230名の会員の約2割480名が経済的理由で入会しています。こうした会員のためにも、市長をはじめ来賓の皆様のお力添えを切にお願い申し上げます。

当センターは「働く意欲」のある高齢者に「就業機会を確保」し、働くことを通じて「生きがいの充実」「健康と福祉の増進」「地域社会の活性化」という大変重要な役割を果たしています。企業の65歳までの雇用が定着し、その後のライフワークがシルバー世代にとって大切になっていると考えています。

就業だけでなくボランティア活動にも積極的に参加する、地域と密着したシルバー人材センターを構築して参ります。センターを支えてくださっている多くの皆様に、なお一層のご協力をお願いいたします。

なぜ「つどいの樹」なの②　柳瀬地区の前村潔さん、三富達也さんが提案した「つどい」と「樹」を組み合わせて命名。「会員が集い、力を合わせてシルバーを大樹にしよう」という意味です。

生涯現役を目指し ゴールド会員制度 来年4月スタート

満75歳に達した会員を対象に、ゴールド会員制度が来年4月1日からスタートします。

シルバーで長年活躍してきた会員も、加齢とともに就業機会が少なくなると「潮時かな」と退会する方が少なくありません。一方で「悠和会のサークル活動を続けたい」「シルバーを通じて社会参加したい」と望む方も多く、そうした方のうち52名（5月末現在）が個人賛助会員に移行し活動を続けています。

このような状況を踏まえ、シルバーでの長年の功労に感謝するとともに、これからもシルバーを舞台に活躍していただき、生涯現役を応援するために「ゴールド会員制度」が設けられました。対象となるのは①シルバーに5年以上在籍②4月1日現在満75歳以上③前年度未就業――などの条件を満たす方です。

年会費は、6月の定時総会で会費規程の一部改正が承認されたことを受け、現在の1500円から500円に減額されます。しかし①総会に出席し議決権を行使する②センターの各種活動に参加する③センターの運営に参加する――などの権利は正会員と同じです。現在、個人賛助会員となっている方も、経過措置としてゴールド会員に移行できます。

新制度を生かし、シルバーライフを実り多いものにしてください。

（総務委員会）

シルバーのイロハが分かる 「会員のしおり」活用を

今月、つどいの樹139号と共にお手元に届いた「会員のしおり」、もう読んでいただけたでしょうか。

「シルバー人材センターっていったい何？」「組織がよく見えない」――。会員の皆さんからも、こんな声を聞くことがあります。また、公益社団法人としてのさまざまな約束事も「定款や要綱は難解で、細かすぎる。もっと分かりやすく」といった苦情も耳にします。

そこで、所沢シルバーの全体像と基本的な制度を抜粋、要約した「会員のしおり」を作りました。A5版12ページの中身は「所沢シルバーとは」のそもそも論から始まり、組織運営や就業の形、定款の抜粋などで構成されています。レイアウトも工夫し、写真や図表も使って読みやすくしています。

ぜひ読んでいただき、手元に置いてご活用ください。（総務委員会）

出張就業相談会に参加を

未就業の会員を対象にした「出張就業相談会」が折り返し点を迎えました。昨年11月、三ケ島地区でスタートし6月13日（火）の松井地区まで5地区で相談会が開かれ、参加者は合計44名でした。

相談会は未就業の方の希望や悩みに耳を傾け、就業の後押しをするのが目的で、その場で就業先が決まるわけではありません。しかし、就業推進委員や事務局の担当者とじっくり話し合うことで、それまで敬遠していた仕事に興味を示すようになった方もいます。また、相談内容を基に会員データベースを更新し、就業に結びつける努力をしています。

残る6地区（新所沢と新所沢東は合同）は12月まで順次、開催されます。対象会員にはハガキで案内をお送りします。ぜひ出席して就業に結び付けてください。

（就業推進委員会）

投稿をお待ちしています。短歌、俳句、川柳、ミニエッセーやご提案などは400字以内で。お名前、所属地区名を明記し事務局の投稿箱へ。郵送でも結構です。広報で編集する場合もあります。作品はお返しできません。

理事長賞
ちょっと待て、安全確認　もう一度
濱田　誠（柳瀬）

安全標語決まる
理事長賞に濱田さん

7月の「全国安全・適正就業強化月間」に合わせて会員から募集した安全標語の入選作が別掲のように決まりました。入選した6名の方は7月3日（月）の所沢シルバー安全大会で表彰されます。

37名から74点の応募があり、就業中の安全に関するもの51点、その他の安全に関するもの6点、健康に関するもの11点、その他が6点でした。選考は森澤弘理事長、安全統括責任者の小山一専務理事、安全推進委員会の浅上勝敏委員長ら9名で行いました。提案者の名前を伏せた作品リストを基に各選考委員が5点ずつ推薦、複数の委員が推薦した上位作品をさらに絞り込む形で6作品を決定しました。最優秀の理事長賞標語は事務局などに掲示します。

応募いただいた皆さんにお礼申し上げます。（安全推進委員会）

【安全統括責任者賞】

あわてるな！　危険は常にかくれてる　齋藤　恒夫（三ヶ島）

【佳　作】

『危険予知』習慣身につけ　安全作業　近藤　宗一（小手指）

あせる気持ちが事故を呼ぶ、一息入れて落ち着いて　山村　勝利（柳　瀬）

安全は　ルールを守る意識から　平井　利和（柳　瀬）

大丈夫　その安易さが事故を呼ぶ　民野　和子（三ケ島）

昨年度の事故13件
重大な結果招く転倒

平成28年度に起きた事故は13件で前年度より2件増えてしまいました。会員がけがをした傷害事故が7件、就業中に依頼先の窓ガラスを割ってしまい弁償するなどした賠責（賠償責任）事故が6件で、いずれも前年度より1件増えています。

傷害事故で目立つのは転倒で3件ありました。いずれも骨折という重大な結果を招き、2件は入院を余儀なくされました。また、除草作業中に茂みから飛び出した蜂に刺され通院したケースもあります。除草・草取りの依頼は増える傾向にあり、万全の注意を心がけてください。

これらの事故とは別に最近、自転車で就業先と往復する途中の事故が増えています。バランスを崩して転倒、下り坂で左右の確認を怠り車と衝突――などの事例がありました。

私たちは若い頃に比べてバランス感覚やとっさの反応力は、どうしても衰えています。そのことを自覚して、「危険はどこにでも潜んでいる」との心構えをお願いします。（安全推進委員会）

新入会員研修会に16名

新入会員などを対象にした会員研修会が5月22日（月）、旧庁舎で開かれ16名が出席しました。

森澤弘理事長、高柳倫子副理事長がシルバーの歴史や仕事の内容などを説明。安全推進委員会の井本順一委員が、就業の大前提である「安全は全てに優先する」ことを訴えました。また狩野啓子さん（所沢）と江村高寿さん（所沢）が「私のシルバーライフ」と題して就業体験を披露しました。

最後は参加者と高柳副理事長、会員活性委員会の委員で懇談会。就業先の見つけ方などについて話し合いました。（会員活性委員会）

会員専用ホームページ「Smile to Smile」を開設しています。ログインするにはパスワードが必要です。
詳しくは事務局へお問い合わせください。

悠和会サークル訪問30

エレキを楽しもう
―エレキギタークラブ―

リーダー・寺本啓介

所沢、狭山、入間を中心に活動するサーフベンチャーズを結成して8年ほどになります。年間十数回のライブ活動で皆さんに喜んでもらっていますが、その時に同世代の人からよく言われることがあります。

「ギターは持っているけれど、なかなか上達しない」とか「ギター教室に行ったけれど分からない」とか、そんな話を聞くにつれ「いつかはシルバーにもギタークラブを作ろう」と思い、2年前にサークルを立ち上げました。現在、以前から一緒に活動していた仲間に会員が合流して演奏を楽しんでいます。

演奏スタイルは、1960年代のベンチャーズ・ライブバージョンを中心にベンチャーズ歌謡、加山雄三インストバージョンなどを加えています。公民館などで行う練習は見学自由です。興味のある方、ぜひご連絡ください。

※練習日＝月2回、日曜日
※練習場所＝新所沢公民館など
※費用＝会場費など実費

余暇に恋して映画を
―余暇恋―

会長　柴田　勲

「七つボタンは桜に錨（いかり）」の予科練は皆様もご存じだと思います。が、我がサークルは、「余暇恋」と申します。平成28年4月に立ち上がった「ほやほやの1年生」です。

活動内容は「余暇に恋して」映画を楽しむ会です。若かりし頃の往年のスターや、昔懐かしい時代劇も邦画も洋画もサスペンスも、幅広いジャンルをカバーします。上映会の後は、お菓子やお茶を飲みながら、当時の俳優の活躍ぶり、ストーリーについて語り合います。

かつて感動した思い出の映画などリクエストを募り、出来る限りお応えして上映していきたいと思っています。「余暇恋」で一緒に映画を観ませんか。入会をお待ちしています。

※活動日＝毎月第1、第3月曜日
　午前9時15分～正午
※会場＝老人憩の家「ところ荘」
※会費＝現在は無料
◎両サークルともお問い合わせは
　悠和会事務局へ
☎04・2928・8695

◇悠和会行事日程

6月の定時総会で悠和会役員に新しいメンバーが加わり、さまざまな行事を計画しています。

まず8月にプロ野球・西武戦の観戦を予定していますが、詳細を詰めている段階なので興味ある方は悠和会事務局にお問い合わせください。

◇会員作品展は11月

今年も小手指市民ギャラリー「エバー」で11月15日(水)～18日(土)に開催します。出展を目指す方、そろそろご準備を。

また今年は1泊バス旅行を復活、他にも楽しい企画を考えています。詳細はつどいの樹や悠和会たよりでお知らせします。

読者投稿

尾崎義江（新所沢地区）

空を飛ぶ　夢もありしや　未草
石楠花を　手折りてくれし　農夫かな
白き雲　西瓜畑を　通りけり
何もかも　忘れて静か　木の実落つ

投稿をお待ちしています。短歌、俳句、川柳、ミニエッセーやご提案などは400字以内で。お名前、所属地区名を明記し事務局の投稿箱へ。郵送でも結構です。広報で編集する場合もあります。作品はお返しできません。

お仕事拝見 78

店先の芝生を奇麗に
スーパーの植栽手入れ

スーパー「ヤオコー北原店」で芝生・植栽の手入れに就業しているのが横澤隆雄さん（並木）、田中卓さん（新所沢東）、小泉義博さん（並木）です。通常はローテーションを組み1人で就業しますが、4月は新たに就業した会員の研修を兼ねて3人で一緒に作業しており、そこを狙って訪問しました。

リーダー格の横澤さんは就業4年目。手書きの作業日程表や管理手順はきめ細かく、後輩への心遣いと実直な人柄がうかがえます。汗を拭いながら「手入れしているサツキやムクゲの花が咲いたとき、手塩にかけた喜びを感じるので、楽しい仕事です」と言います。

田中さんは「この4月からの就業ですが、外で働くのが好きなので、青空の下で仕事ができる幸せを感じています。何より作業後の昼飯がうまい」と破顔一笑。やはり4月から就業した小泉さんも「早起きするようになりました。朝ご飯をしっかり食べて就業するので健康にも一番」と満足そうでした。

日光が直接降り注ぐ中での作業、熱中症には気を使います。横澤さんは「夏になると、作業時間を早朝や夕方にずらします。水やりも土の乾燥具合や、植栽の状態をよく観察する心配りや判断力が必要で、春秋と夏場は違います」と、一様ではない植物への愛情が伝わってきます。

広い芝生の雑草を取り、芝を整える仕事は中腰で、時には膝をついての作業です。皆さん、腰痛にも気を付けながら、大型店の顔ともいうべき600台収容の駐車場周辺の環境美化を支えています。（保里）

健康一口メモ 38

熱中症を防ごう

熱中症患者の半数以上は65歳以上の高齢者。急激な温度変化に体が慣れていない梅雨明け前後のこの時期が、もっとも注意が必要です。家の中でじっとしていても、室温や湿度が高いために体から熱が逃げにくく、熱中症と気付かないケースが多いのです。

高齢者は体内の水分が若者に比べて少なく、老廃物を出すにも多くの尿を必要とするため脱水状態になりやすいのです。また、体温調節機能が低下して「暑さや喉の渇きを感じにくい、汗をかきにくい」ので、自覚症状がないのに、熱中症になる危険があります。

そこで熱中症を防ぐには――。

- **こまめに水分を補給**する。入浴前後や寝る前にも水分をとる。
- エアコンや扇風機を上手に使い、**部屋の風通しを良く**します。冷え過ぎないよう、体に直接当たらない風向きに。
- 涼しい時間に散歩などをして、**適度に汗をかく**よう習慣づけましょう。

（保健師・西村園子）

会費納入お願いします

所沢シルバーの平成29年度の会費納入期限が7月末に迫りました。

4月以降に就業されていない方などは事務局で支払うか、振り込みでお願いします。専用払込用紙はつどいの樹4月号に折り込みましたが、なくした方は事務局にお問い合わせください。

年会費は、悠和会会費と合わせて2000円です。

平成29年5月末現在の総会員数　2,316名（男：1,605名、女：711名、3月～5月の入会者101名、退会者117名）、賛助会員法人数39法人

二つのお祭りで イベント班繁盛

爽やかな5月の風に吹かれて開かれた二つのお祭りで所沢シルバーのイベント班が大活躍しました。

▼ところタワーまつり▲

14日（日）、所沢市中心街に大勢の人が集まった「ところタワーまつり」では、開会式が開かれた元町コミュニティ広場の飲食ブースで綿あめやポップコーン、アイスコーヒーを販売。営農グループの野菜販売も加わり、商店街などのプロ？が開いたお店にも引けをとらない繁盛ぶりで、班長の戎裕可（えびすひろよし）さん（吾妻）をはじめ11名のイベント班は大忙しでした。

▼戦国滝の城まつり▲

翌週21日（日）には柳瀬地区の県指定史跡・滝の城跡を舞台に繰り広げられた「戦国滝の城まつり」にも出店。甲冑（かっちゅう）に身を包んだ戦国武者が行き交う会場で、綿あめが飛ぶように売れました。特にこの日は日差しが強く、アイスコーヒーが大人気でした。

二つのお祭りに携わった会員は14名。赤字を出すこともなく配分金を確保。もちろん、所沢シルバーを大いにアピールできました。

イベント班には、地区活動委員会の地区長さんなどから「夏祭りに出店したら」「こんなイベントがあるよ」などの情報が寄せられており、活動の場を広げていきます。

（職群班委員会）

地区懇が始まります

市内11地区で開催される地区懇談会が9月16日（土）の山口地区からスタートします。

森澤弘理事長や事務局と意見を交わし、シルバーの現状を理解する貴重な機会です。また同じ地区の会員が親睦を深める場でもあります。例年、地区ごとに趣向を凝らした余興などもあり、多くの参加者を楽しませています。

昨年度までは年明け1～2月の開催もありましたが、今年度はほとんどの地区が年内に実施します。開催前に、皆さんに各地区長から案内状が届きますので、積極的な参加をお願いします。

（地区活動委員会）

シルバー豆宣伝

入会を希望する方は

市内にお住まいで60歳以上の健康で働く意欲がある方、働くことを通して社会参加することに意欲的で、センターの目的・趣旨にご賛同いただける方、まずはセンター事務局受付へおいで下さい。ご来所頂き、入会に関する書類をお受け取り下さい。その折、毎月1回実施される説明会への出席をお申し込み下さい。

「会員を募集しています‼」

○健康相談日

健康で、元気に就業していただくため、健康相談を行っています。

日時＝7月20日(木)10時～12時
8月17日(木)10時～12時
9月21日(木)10時～12時
10月19日(木)10時～12時

場所＝センター事務室へ

○就業相談日

就業相談で、あなたにふさわしい就業先を見つけてください。

日時＝毎週水曜日14時～15時半
（祝日の場合は休み）

場所＝センター・2階会議室

あとがき

ＮＨＫの朝ドラ「ひよっこ」にはまっています。前回の東京オリンピックがあった1964年から始まった物語の背景は、団塊の世代である私の青春に重なります。真夏の太陽の下で、汗まみれになって肉体労働に励んだ日々。ドラマから力をもらって、この夏はいい汗をかこうかなと思います。もちろん、熱中症に注意し、体力と相談しながらですが。　（野崎）

投稿をお待ちしています。短歌、俳句、川柳、ミニエッセーやご提案などは400字以内で。お名前、所属地区名を明記し事務局の投稿箱へ。郵送でも結構です。広報で編集する場合もあります。作品はお返しできません。